

施策	3201 防犯・交通安全対策の充実							
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正		
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有		
対象	市民							
施策が目指す姿	犯罪や交通事故に対する不安の解消に向け、防犯対策及び交通安全対策の推進を図る。							
成果指標	防犯灯延設置数...5年間で15,500基（現状値14,079基） 防犯カメラ設置費補助延台数...5年間で25台（現状値0台） 交通安全教室参加者数...5年間で6,000人（現状値5,089人） 歩道設置道路延長...5年間で143,582m（現状値141,016m）							
目 標 達 成 状 況			平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	成果指標1 [基]	予定	14,500.00	14,750.00	15,000.00	15,250.00	15,500.00	
		実績	14,673.00					
	成果指標2 [台]	予定	5.00	10.00	15.00	20.00	25.00	
		実績	5.00					
		単位コスト	49,986.40					
	成果指標3 [人]	予定	5,000.00	5,200.00	5,400.00	5,700.00	6,000.00	
		実績	4,805.00					
		単位コスト	52.01					
	成果指標4 [m]	予定	141,579.00	142,304.00	143,153.00	143,384.00	143,582.00	
実績		141,374.40						
	単位コスト	1.77						
トータルコスト (千円)	予定	261,823	278,875	309,472	0	0		
	実績	249,932	269,614	309,472	0	0		
内 部 評 価	貢献度	犯罪件数・交通事故件数の減少には、防犯灯設置灯数・交通安全教室参加者数の増加や、歩行者の安全施設の整備推進が必要であるため、目標達成度による貢献度は高い。						
	達成状況	防犯灯設置灯数及び防犯カメラ設置台数は目標に達した。交通安全教室参加者数、歩道設置道路延長は目標に達しなかった。						
	課題	防犯、交通安全への関心を高めるための周知・啓発活動を継続的に実施することが必要。また、交通安全施設整備を計画的に推進するためには、十分な財源の確保が必要。						
	取組方針	防犯灯設置及び防犯カメラは自治会に周知し要望を取りまとめてもらう。交通安全教室開催を積極的にPRするとともに通学路交通安全プログラムにおいて順次整備推進を図る。						
外 部 評 価	防犯灯の設置については自治会からの要望により設置をしているとのことであるが、犯罪件数の減少には効果があると思われる。引き続き自治会に周知を図り、防犯灯の設置を推進願いたい。 また市内で発生した事件等に関する情報発信が不足しているため不安を感じる。積極的な情報発信をお願いする。 交通安全対策の充実については、指標である交通安全教室参加者数が目標値を下回ってはいる。高齢者の事故率の増加を鑑み、高齢者に特化した研修の実施を希望する。 安全ミラーの設置については、危険個所であるにもかかわらず市の規定に該当しないため設置が難しい箇所がある。危険個所への設置については配慮をお願いしたい。							
単 位 施 策 達 成 の た め の 事 務 事 業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度	
	114101	交通指導員設置費				40,692	100	
	114201	交通安全対策事業費（栃木）				9,287	100	
	114202	交通安全対策事業費（大平）				3,822	100	
	114203	交通安全対策事業費（藤岡）				3,114	100	
	114204	交通安全対策事業費（都賀）				3,780	100	
	114205	交通安全対策事業費（西方）				1,648	100	
	114206	交通安全対策事業費（岩舟）				3,179	100	
	114302	防犯事業費（大平）				1,500	100	
	114303	防犯事業費（藤岡）				1,875	100	
114304	防犯事業費（都賀）				750	100		

単位施策評価表 補表

施策	3201 防犯・交通安全対策の充実		
区分	妥当性	妥当	市民が安全・安心に暮らせる環境の確保を行わねばならない。
	コスト削減の余地	有	不要となった防犯灯の再利用、再生資源利用等による交通安全施設整備などに余地がある。
	受益者負担	適正	市が行うべき事業である。
	上位貢献度	有効	安全・安心な暮らしの確保のための貢献度は高い。
	類似事業の有無	無	市・警察等が連携して取り組む必要があり類似事業はない。
	成果向上の余地	有	防犯・交通安全の推進は継続して実施していく必要がある。
内部評価	貢献度	犯罪の体感不安は依然として高く、交通事故も日々発生しており、犯罪件数の減少や交通事故件数の減少に取り組む施策である防犯灯設置・交通安全教室開催や歩行者の安全施設の整備推進は、安全安心な暮らしの確保のため貢献度は高い。	
	達成状況	防犯灯の設置については自治会からの要望を踏まえ目標灯数に達した。防犯対策としては、防犯カメラを合戦場駅に設置し、警察と連携し栃木駅周辺パトロールを実施した。交通安全教室はPR効果で参加者数は増加した。交通安全県民総ぐるみ運動、死亡事故発生箇所など警察、関係団体と連携し街頭啓発を実施した。スクエアストレイト方式の交通安全教室を実施した。歩道設置道路延長は概ね目標に達した。	
	課題	防犯・交通安全への関心を高めるための周知・啓発活動は継続的に実施しなければならない。 交通安全施設整備を計画的に進めるには十分な財源の確保が必要である。	
	取組方針	防犯灯設置は引き続き自治会に周知し要望を取りまとめてもらう。交通安全教室開催については老人クラブや幼稚園、保育園等にも周知しPRしていく。交通安全施設整備については通学路交通安全プログラムに基づき順次整備を図る。	